

## USB-XooNIps の設定方法

2010.01.08

USB メモリへの設定編

---

① システム条件	1
② 解凍ソフトのダウンロード・インストール	1
③ DD for Windows のダウンロード	2
④ USB-XooNIps のダウンロード・解凍	2
⑤ DD for Windows で USB-XooNIps のイメージから機動できる USB メモリを作成する	3
⑥ 起動方法	3

### ① システム条件

ディスクが 5GB 以上の空きがあるパソコンを用意し、インターネットに接続していること  
 USB メモリが接続可能のこと。(ほとんどのパソコンで大丈夫のはず)  
 空の 4GB の USB メモリ(有名メーカー製の方が、動作率が高いため推奨)

### ② 解凍ソフトのダウンロード・インストール

Lhaplus を利用する(他のものでもよい)

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/arc/archive/archiver/lhaplus.html>

上記 URL を参考に、ファイルをダウンロードして実行、インストールする。実行が完了するとデスクトップにアイコンが現れる。



<http://laptop.sfc.keio.ac.jp/info/index.php?%5B%5BLhaplus%A4%CE%A5%A4%A5F3%A5%B9%A5C8%A1%BC%A5%EB%BC%EA%BD%E7%5D%5D>

参考 URL

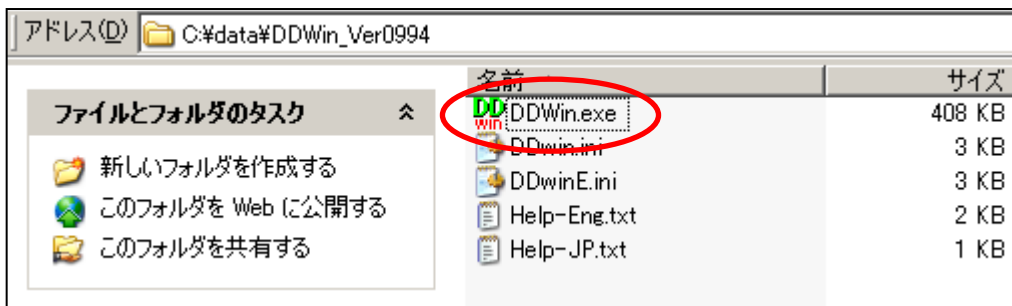
### ③ DD for Windows のダウンロード

DD for Windows をダウンロードして任意のフォルダに解凍する。容量が足りればデスクトップでも問題ない。

<http://www.si-linux.co.jp/wiki/silinux/index.php?DDforWindows#s74c46f6>

上記 URL からダウンロードして任意の場所に解凍する。

解凍してできた「DDWin\_Ver0994」(例)フォルダ内の「DDWin.exe」をダブルクリックすることで実行できる。(最新の Windows7 等、一部の Windows では、通常のダブルクリックでは USB メモリを選択出来ないことがある。その場合、右クリックして表示されるメニューから“管理者として実行する”を選択することで選択可能となる。)



### ④ USB-XooNIps のダウンロード・解凍

USB-XooNIps イメージファイルを所定の URL から十分な空きのある(約1GB)任意の場所にダウンロードして取得する。

<http://nijc.brain.riken.jp/xoonips/index.php?Special%2FIR-USB>

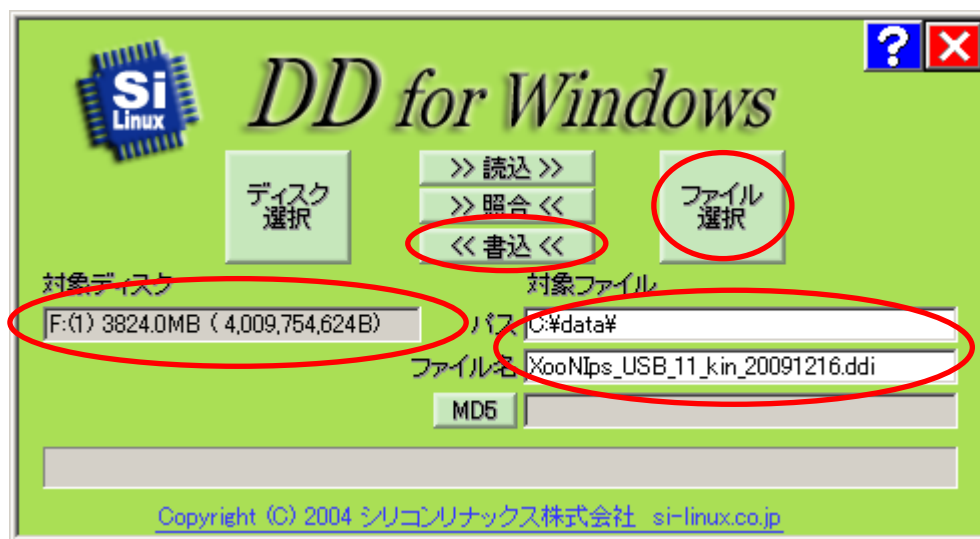
上記 URL ページから USB 本体データをダウンロードして保存する。

ダウンロードしたファイルを右クリックし、[解凍]タブから[ここに解凍]を選択して解凍する。(十分な空きのある(約4GB)任意の場所に解凍する)

※自動解凍も可能

## ⑤ DD for Windows で USB-XooNIps のイメージから機動できる USB メモリを作成する

解凍してできた「DDWin\_Ver0994」(例)フォルダ内の「 DDWin.exe 」をダブルクリックする



左のウィンドウが現れるので、

「対象ディスク」が作成する USB メモリを指定していることを確認し、

「ファイル選択」ボタンをクリックしてイメージファイルを選択する。

また、対象ファイルに焼きたいイメージが表示されていることを確認する。

**最後に対象ディスクが書き込みを行うための空の USB メモリになっていることを必ず再度確認して、**

「<<書込<<」ボタンをクリックして書き込みを開始する。書き込みには10分から20分程度かかる。

(ここで、書き込んだ USB メモリに予めデータが存在した場合、そのデータは失われてしまいます)

書き込みが終了したら USB-XooNIps の完成。BIOS の設定を確認し、USB 起動ができるかどうか確認する。

## ⑥ BIOS の設定確認

パソコン電源投入時に「F2」キーを押して(連打して)BIOS セットアップ画面を表示させる

起動順位の表示されているタブを探す(英語表記かもしれません)

起動順位を「本体のハードディスク」よりも「USB 外部デバイス」の優先順位を上げる

※BIOS の設定は、パソコンの機種・メーカーにより操作法が異なる。大概、添付のマニュアルに記載されている。機種によっては、起動時に起動デバイスを選択するモードを持つものもある(東芝など)

この状態で、USB メモリを差し込んだまま、パソコンを再起動すると USB-XooNIps が起動します。

(もちろん USB メモリを抜いて再起動すれば、元の Windows から起動することが出来ます)

「USB フロッピー」などしかない場合はそれで挑戦する(起動する可能性がある)

一部古い機種など上記メニューがない場合や、メニューがあっても USB からの起動ができない場合もある。その場合は、USBメモリからの起動はあきらめ、内蔵 HDD へのインストールを検討する。(インストールマニュアルが用意されています)